

# 能登半島地震 復興支援ニュース

## 第2号

2024.3.11

## 大阪府連の取り組み/この間の支援活動

### ■3月5日現在の断水状況 (石川県ホームページより)

| 市町  | 断水状況                              |
|-----|-----------------------------------|
| 輪島市 | 約5,850戸 ※輪島、門前、町野地区の一部で通水エリアを拡大   |
| 珠洲市 | 約4,650戸 (ほぼ全域)<br>※一部の小規模施設エリアで解消 |
| 能登町 | 約2,850戸 ※能都、内浦、柳田地区の一部で通水エリアを拡大   |
| 七尾市 | 約3,700戸 ※市街地、中島、能登島地区で通水エリアを拡大    |
| 内灘町 | 約200戸 ※北部地区の一部で断水                 |
| 計   | 約17,250戸                          |

地震発生から3ヶ月が経った今もなお断水が続いている地域が多くあります。

そのような状況の中、パルコープも加盟している大阪府生協連より、2月から断水の続く地域に毎週200ケースの飲料水が届けられています。また、栄養が偏りがちになっている現地の方のニーズに応え、ミックスキャロットやホームトンバナナ、紀ノ川のみかん等も届けられています。



左から) コープいしかわ 大谷理事長、  
NPO法人リエラ 代表 松永さん、  
日本生協連 嶋田専務

こちらの写真は、能登半島の被災地で支援活動をしている「NPO法人リエラ」さんへ、コープいしかわと日本生協連より活動支援金が贈呈された時の様子です。背景に映っているのが大阪府生協連より寄贈された飲料水です。

【予告】3月15日(金)~17日(日) 0泊3日  
大阪府生協連主催の第2回ボランティアバスに、  
パルコープ職員も参加します。

パルコープの名前が入った重機も  
現地で活躍中!

2018年の西日本豪雨災害でパルコープの支援ボランティアの受け入れをしてくださっていた「コミサポひろしま」さんも、現地で瓦礫の撤去作業などの支援活動をされています。



西日本豪雨災害支援の際、コミサポひろしまさんに寄贈した重機▶

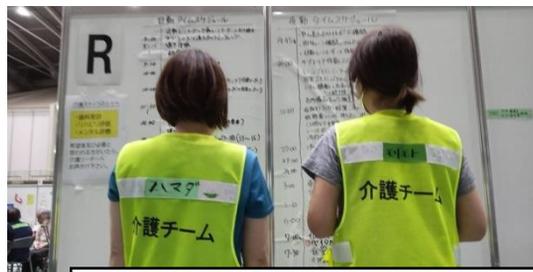
## ■2/16～19 福祉職員の支援派遣（避難所での活動）

被災地では、高齢者の健康状態や介護度の悪化防止と災害関連死を減らすために専門性を有した福祉職員によるケアが求められています。石川県生協連からの要請を受け、パルコープからも小規模多機能パル都島の職員2名を派遣し、主に中重度の高齢者グループに対する食事提供や入浴介助・排泄介助・傾聴・環境整備を行いました。

### 【参加されたお二人の感想】

濱田さん「義援金ではなく人的支援で力になればいいなという思いで応募しました。専門職間の連携がとても難しく混乱しているように感じ、施設ではないので、手すりやベッド、トイレなど環境が整っていない状態での介護支援はとても苦労しました。今回の経験で、やはり高齢者さん達の心に寄り添うことが一番大切だと思いました。」

森本さん「何も分からず不安なこともありましたが、不自由な生活の中でストレスが溜まったり、元気もなくなってくる中で、避難されている皆様が少しでも楽しく過ごしていただけるようにという想いから毎日頑張ることができました。」



金沢市のスポーツセンターに設けられた1.5次避難所



## ■2/5～9 CO・OP共済契約者へのお見舞い活動

とやま生協西部センターを拠点に、CO・OP共済を契約されている組合員さんのお宅へ訪問し、富山県の中では一番被害が大きかった氷見市で3日間、現在も断水が続く石川県七尾市で2日間お見舞い訪問活動を行いました。

2人1組ペアで、異常災害見舞金を迅速にお支払するため住宅について被害をお聞きし、給付対象であればその場で申請手続きもしました。「とやま生協です～、震災のお見舞いに訪問させていただきました」と訪ねると「わざわざ大阪からありがとう」と言っていたが、中には異常災害見舞金のことを契約者の方が全くご存知なく、支払いの対象になることを伝えると「今すぐのお金が必要なのですぐ助かります」と感謝される場面もありました。

石川県七尾市では、多くの建物の屋根や外壁にブルーシートがかけられている状態でした。お会いできた契約者宅の殆どが一部損壊、半壊となっていて、「断水状態で毎日近くの井戸に水を汲みに行ったり、給水車の援助をもらったりして水が自由に使用できないことが1番の困りごと」だとおっしゃっていました。

このような大きな地震は想像していた以上に被災者の方を経済的・精神的に苦しめているということ。そして、「CO・OP共済」がその場でその両方にお役立ちできていることを実感。改めてCO・OP共済は「助け合いたい」想いをカタチにした商品だと感じました。



2月5日 富山県氷見市にて

募金総数：26,352名 35,673,800 円（2024/3/4現在）